新聞記事掲載

北日本新聞　　令和２年 12 月２日（水）　朝刊　22 面

■京都外大と市が協定

高岡　高岡市は1日、京都外国語大と地域振興や観光に関する協定を結んだ。同大国際貢献学部の学生が、高岡銅器や高岡漆器などの伝統工芸をテーマに、市民と協力しながら、課題解決に取り組む。



市役所で締結式があり、高橋正樹市長＝写真左＝は「新たな切り口で高岡を見て、良いところも悪いところも発信してほしい」、松田武学長＝同右＝が「素晴らしい伝統産業を持つ高岡市との協定締結は大きな喜び」と述べ、協定書にサインした。

協定は、市の課題解決と発展を目的に締結。学生16人が来年2月に市内に滞在し、ものづくりの現場を学んだり、販路拡大に向けた企画を立てたりする。同26日には成果発表会も行う。高岡市が大学と協定を結ぶのは6例目で、県外では初めて。

富山新聞　　令和２年 12 月２日（水）　朝刊　20 面

学生と連携 課題解決

高岡市、京都外大と協定



高岡市は1日、京都外国語大（京都市右京区）と連携協力協定を締結した＝写真。高岡の伝統工芸をテーマに、学生が地域と連携して課題解決に取り組む。

市役所で締結式が行われ、高橋正樹市長があいさつし、松田武学長が「活気あふれるコミュニティーづくりのお役に立てることを願う」と述べた。同大国際貢献学部の竹内俊隆学部長が同行した。

課題解決の第1弾として、国際貢献学部の学生16人が来年2月8～26日、市内に滞在して高岡銅器、越中福岡の菅笠など、ものづくりの現場を学ぶ。

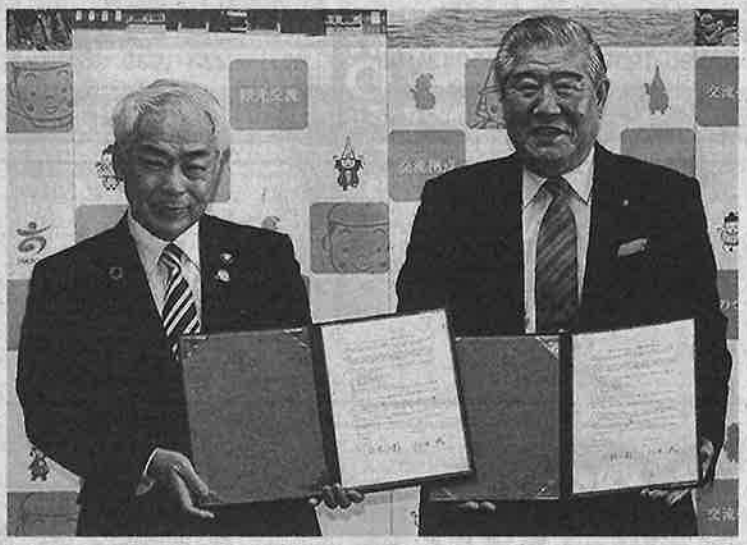
高岡市が大学、短大と協定を締結するのは6例目で県外の大学は初となる。

新聞記事掲載

北陸中日新聞　令和２年12月２日（水）　朝刊　12面

伝統工芸研究で連携へ

高岡市 県外・京都外大と初協定



協定書を交わす高橋正樹市長㊧と松田武学長＝高岡市役所で

高岡市と京都外国語大（京都市）は一日、連携協力に関する協定を締結した。同市が大学と締結するのは六大学目で、県外の大学とは初めて。同大が自治体と協定を締結するのは七カ所目となる。

京都外大が高岡銅器や高岡漆器などの伝統工芸に着目し、二〇一八年に新設した国際貢献学部の学生が伝統工芸など同市の地域活動を研究、情報発信する場として両者で連携を進める。

締結式で高橋正樹市長と同大の松田武学長が協定書に署名した。同学部の竹内俊隆学部長が同席した。

高橋市長は「若い学生に街を歩いていただけるのはうれしい。新しい切り口で情報発信してほしい」と期待。松田学長は「刷新的でチャレンジングな取り組み。地域のコミュニティーづくりに役立てればと思っている」と述べた。

来年二月八～二十六日に国際貢献学部の学生十六人が高岡市に滞在し、高岡銅器、高岡漆器、越中福岡の菅笠（すげがさ）の伝統工芸の現場で課題研究する。

同大は、平等な立場や目線で、国際的な地域課題の解決を見いだせるグローバルな人材を育成するプログラム「コミュニティ・エンゲージメント」を進めており、今回の締結もこのプログラムの一環。（武田寛史）